



OPEN
CAMPUS
オープンキャンパス

先輩たちが案内してくれるから
わかりやすい、聞きやすい

今年度のオープンキャンパス
日程については受験生サイトを
ご確認ください。

受験生サイトはこちらから



横浜
学ビ
ミクス
Yokohama Manabinomics
経済学部の学生成長戦略



K G U 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



経済学部
College of ECONOMICS

横浜・金沢八景キャンパス 経済学部
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

「横浜駅」から「金沢八景駅」まで京浜急行線(特急・快特)で20分。「金沢八景駅」からキャンパスまで、徒歩15分または京浜急行バス(関東学院循環)で5分。

経済学部の魅力を配信中!
QRコードはお使いの機種、アプリによって読み取れない場合があります

経済学部オリジナルサイト
<https://keizai.kanto-gakuin.ac.jp/>



オープンキャンパスは全日程で事前申込が必要です。公式LINEアカウントをお友だち追加していただく、最新情報を取得できます。右のQRコードより、お友だち追加をお願いします。



K G U 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



経済学部
College of ECONOMICS



K-mics
Economics Education Platform

経済学部の 学生成長戦略

INDEX

- 経済学部の「K-mics」……1
- 入門科目・外国語科目……3
 - 基礎ゼミナール
 - プレゼミナール
 - 入門科目・基礎科目
 - 外国語科目
- 専門ゼミ……5
 - 2・3・4年次専門ゼミナール
 - TOPICS
 - 経済学科目
- 教職課程……7
- 資格取得……8
 - 資格取得支援制度
 - 簿記課外講座
 - データサイエンス
- 国際交流助成制度……9
- キャリア支援……9
 - インターンシップ制度
 - キャリア教育
 - KGU就活NAVI
- 卒業生Message……10
- 学部長Message……10

経済学部の「K-mics」

経済学部は、企業や地域社会が抱える現実の課題解決にチャレンジする「K-mics」を推進しています。経済学の多様な研究分野を生かして、学生の実践的な学びを重視しています。

1年

学びの基礎

学びの導入科目—「経済学入門」「基礎ミクロ経済学」など

キャリア科目—「KGUキャリアデザイン入門」「データサイエンス概論」など

導入教育—基礎ゼミナール：研究活動に必須の「読む・聴く・書く」力を学修

プレゼミナール：社会連携教育を通じて社会の課題と向き合う

教職課程

中学校教諭一種
「社会」

高等学校教諭一種
「地理・歴史」
「公民」「商業」



2年～

興味関心、将来の進路に
基づいた専門科目を中心に
履修するためにコースを選択

産業・
金融

公共
経済

国際
経済

2年次後期から卒業までの2年半、
専門ゼミナールにて研究

実践的な学び

社会の課題と向き合い、
経済学の視点から
解決方法を探る

理論と実 践の往復

理論に関する学び

教養・専門分野に関する講義
専門ゼミでの学術的なトレーニング
専門書を読む・論文を書く

希望の進路へ



4年

卒業論文

4年間の学びの集大成

理論と実践の往復で問題を見つ
け分析し、提案する力を鍛えて、
卒業論文などにまとめる

キャリア形成

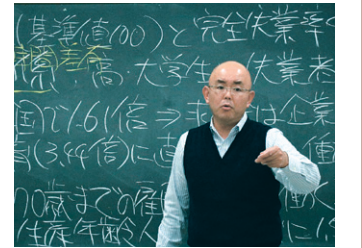
就職支援センター
資格取得・公務員試験
対策講座など

経済学部
簿記課外講座
資格取得支援制度

経済学とは？

理論経済学担当 吟谷 泰裕 准教授

経済は「生き物」であり、人体を例にとってみると、お金は「血液」、財は「栄養分」と表現されます。経済学は「どうすれば人間が幸せになれるか」を考える学問。市場での取引を通じて、どうすれば有用な財やサービスを1つでも多く生産・消費できるかを考えます。同時に、市場での取引が、1人の人間、1つの国、さらに世界全体にどのような影響を及ぼすのかを考えます。



入門科目・外国語科目

新入生も安心、大学での学び方や経済学の基礎、レベルに応じた外国語教育を用意

基礎ゼミナール

1年次前期に受講。「自分で考え、選んで学修する」姿勢を身につけます。時間割の組み方、自己紹介のやり方、レポートの書き方など、学びの基礎である「読む・書く・聴く・話す」能

力を効果的に育成。4年間の大学生活に必要な学修スキルを修得します。少人数制なので仲間づくりもスムーズに行えます。



在学生
Message

税理士を目指して
基礎から学び始めています
伊東 誠也さん

将来を考えた時、関東学院大学には「KGUキャリアデザイン」という科目があり、1年次から4年後を見据えて自分の長所を伸ばしながら学べる環境が整っています。また、高校時代に経済について学び、税理士になりたいという夢が生まれたことが、関東学院大学経済学部へ入学を決めた大きな理由です。関東学院大学には、専門分野を学ぶための基礎力を養う「基礎ゼミナール」が1年次の春学期から始まります。基礎ゼミでは、大学生活に関する基本的なことから、課題の発見や文献の検索・引用形式、レポートの書き方やグラフの作成方法などを学びます。ゼミは少人数講義なので、新しい友人も増えました。

プレゼミナール

学生が実際の現場にある課題と向き合い、経済学に基づいて社会を考える取り組み「K-mics」。「プレゼミナール」のクラスでは、近隣の地方自治体の協力を得て、観光客集客、商店街振興、広報戦略、地域の特産物など市の取り組みと課題に触れ、「若い世代を取り込むためには何が必要なのか」をテーマとして学修課題の提示を受けました。PBL（課題解決型学習）を導入し、



ゼミでは、学習、調査、プレゼン等の準備を進めながら課題の解決策を探していきます。



入門科目・基礎科目

1年生のために、きめ細やかな科目を用意

経済学部では、充実した導入教育を用意しています。1年生の全員が履修する「基礎ゼミナール」と「プレゼミナール」では、10人前後の学生に1人の教員がレポートの書き方やプレ



ゼンテーションの方法を指導します。ここで、大学で学ぶための基礎的なスキルを修得します。「経済学入門」では、経済の基礎や重要な分野を専門教員によるリレー方式で講義していきます。パソコンが苦手な学生には、初歩から学べる「パソコン入門」を用意しています。また、「KGUキャリアデザイン入門」では、就職活動のためのグループディスカッションの実践やマナーとコミュニケーションスキルの育成などを行っています。

外国語科目

英語が得意な人も不得意な人も、段階的に上達できるようにカリキュラムを組んでいます。英語が得意な人は、発信力を段階的に鍛えます。1年次で英文エッセーと異文化間コミュニケーション、2年生で英語のプレゼンテーションとビジネス英語を学びます。英文添削、英語でのコミュニケーションの機会があります。英語が不得意でも、1年生で英文法の復習と日常会話を学びます。2年生では「マス・メディアの英語」「国際関係と地域研究の英語」など4科目のなかから自分の関心のある科目を選ぶこ

とができます。また、選択科目の種類が多いことも魅力の一つです。「英語圏に留学したい」「TOEICで高得点を取りたい」「英語を使って仕事をしたい」希望に応えるためにさまざまな「テーマ英語」を用意しています。また、第二外国語も種類が豊富です。ドイツ語、フランス語、中国語に加えて、スペイン語、ハンガール語、ロシア語まで学ぶことができます。社会人になってから仕事で関わる可能性があることを考え、日本と経済的な結びつきの強いアジア諸国で使われている言語を、初歩から学べるようにしています。

在学生
Voice

阿部 貴明さん 田中 悠太さん

経済学部といっても、英語をかなりしっかりと学ぶことができます。特に、自分が取り組んでいた英語のエッセーを書くという課題は、単に英語力を身につけるだけではなく、文章をつくるうえで大切な「序論→本文→結論」の組み立てについて学ぶことができ、この英語の授業だけではなく、多くの面で役立っています。



教員
Message

オムニバス形式で4人の教員が
経済学の4分野を教える

経済学入門 担当
黒川 洋行 教授

1年次に経済学の基礎を学ぶ科目が「経済学入門」です。「経済社会の変容」「市場・価格」「国民経済」「国際経済」の4分野を学びます。私の担当は国際経済です。活発化する国際的な経済取引に必要な知識として「貿易の利益性」「国際収支の読み方」「外国為替レート」「多国籍企業の実態」を教えています。経済学を学ぶことで、社会を深く理解し、様々な課題を解決する方途の探求ができます。経済学は人間の尊厳にふさわしい経済秩序のあり方を考える学問です。市場経済が競争秩序を保ち、健全に機能するためには政府の役割が重要となります。経済学では市場だけでなく、政策を学ぶ必要もあります。



教員
Message

一人ひとりに合致した
多様な英語カリキュラム

ESPI 担当
原田 祐貨 教授

私が担当している「ESPI」では1年生の中から選抜された英語の得意な人が短い英文エッセーの書き方を学んでいます。ただ単に文法や語法を正しく使えるというだけでは説得力のある文章を書くことはできません。自分の主張を明解に提示でき、その根拠について具体例を交えて説明できる能力が求められます。上手な書き手は読者を意識して文章を書きます。この文を読むと人は何を考え、この後にどのような話の展開を予測するか。この点を意識するようになります。読者を最終的にどの結論へ引っ張っていくのか、文書全体のゴールを見据えていれば、途中で話が脱線して初めの主張とくい違う結論にたどりつきません。授業では自分の体験をリアルに描写することから始めます。1年後には社会問題について原因を考え、改善策を提案する論文文まで書けるようになります。

専門ゼミ

2・3・4年次専門ゼミナール

所属するゼミナールを決定するにあたり、1年次末に全体説明会、2年次春学期に個別相談を実施、ゼミ紹介の資料も公開され、教員やゼミの先輩からも直接話を聞くことができる機会もあります。
2年次秋学期から始まる専門ゼミナールでは、ゼミナールIからVまで、段階的に専門の学びを深めていきます。

TOPICS 1 吟谷ゼミナール

日本経済に飛び込む準備を 吟谷 泰裕 准教授

「自分と日本経済の関係を理論的に考える」ことが、吟谷ゼミのメインテーマです。在学中に就職活動を行って卒業後の進路を決めるといった活動は、学生にとってまさに日本経済に飛び込んでいくことに他なりません。こうした「日本経済に飛び込む」準備をしっかりと行う。それが吟谷ゼミナールの目標です。具体的には「Q&A日本経済のニュースがわかる！」(日本経済新聞社編)というテキストを用いて、毎週、ゼミ生が4つのグループに分か



れて日本経済のさまざまな問題を意欲的に討論しています。討論でまとめられた見解を発表し、教員のコメントなどを受けることで、議論はさらに深められていきます。

経済学科目 現代社会の問題に対応するための深い学び

2年次以降、企業の生産活動に関する分析能力を持つ人材を育成する「産業・金融コース」、公務員などに求められる政策立案能力を持つ人材を育成する「公共経済コース」、国際的な視野を持ち、世界で活躍できる人材を育成する「国際経済コース」の3つの専門コースで、将来を見据えながら経済学を学びます。3年次以降は、発展科目で経済学の専門性をより深めていきます。発展科目とコース科目の中に「プレミアム科目」が設置されています。「プレミアム科目」には、大きく3つの分野があります。一つは、基本的な経済学をより発展させた学習である「ミクロ経済学の

TOPICS 2 山本ゼミナール

社会に必要な3つのチカラを養う 山本 勝造 教授

山本ゼミでは、大学4年間を「社会人として必要な素養を身につけるための準備期間」と位置付け、ゼミナールでの学修を通して社会人として備えるべき「経済学的思考力」「プレゼンテーション力」「協働力」の力を養います。プレゼンテーションやグループディスカッションの機会を多く設けることで、他のメンバーと協力しながら主体的に問題解決に向けて取り組んでいく力を



身に付けます。4年生には卒業論文の作成を通して、自ら設定したテーマについて論理的にとことん突き詰めて考えていく機会を提供します。

TOPICS 3 石坂ゼミナール

学生がやりたいテーマを研究 石坂 貴美 准教授

石坂ゼミは、学外のさまざまな組織と連携しながら、社会問題の解決にチャレンジするのが特徴です。ゼミナールの主役はゼミ生です。研究するテーマはいくつか提示しますが、何をどのように学ぶかは学生自身が決めます。外部での勉強会やイベントへの参加、フィールドワークに加えて、高校生との交流で学んだ内容を伝える取り組みもしています。ゼミ生たちがやりたいことを教員、そして外部の協力者が全力でサポートする体制も用意しています。

研究例: 逗子フェアトレードフォーラムでの発表・ボランティア、国連WFPウォーク・ザ・ワールドへの参加、古着の回収と寄附



TOPICS 4 細谷ゼミナール

様々な文化的背景を持つ人たちとの触れ合いの中から学ぶ 細谷 早里 教授

「細谷ゼミだから学び、体験できること」を考えながらゼミナールを行なっています。異文化間教育を専門としていますので、学生たちにもできるだけ異なるバックグラウンドの人たちと触れ合う機会を提供し、多文化共生社会の担い手になってもらいたいと考えています。そのため、学外で人々と実際に触れ合う活動に参加できるように心がけています。コロナ禍で

中断していますが、Mission to the Seafarers(MTS)横浜の活動の一部である横浜港へ入港する船の乗務員の方々へのクリスマスプレゼントと船への訪問を行ってきました。また、金沢国際交流ラウンジの活動の一つとして行なわれている外国ルーツの子どもたちと一緒に活動するイベントの計画・運営協力に今年度から関わるようになりました。通常の授

業では国際情勢、国際的な問題、社会問題、異文化間の衝突などを扱う書籍や新聞記事をもとに発表や議論を行いつつ、活動のバックグラウンドとなる知識を養っています。細谷ゼミナールは、学生の自主性を大事にしているゼミですので、学生たちが「やってみたい」ということをバックアップしたいと考えています。



TOPICS 5 青柳ゼミナール

自分を知り、人を生かすための学びと実践 青柳 健隆 准教授



自分を知り、人を生かすための学びと実践
青柳 健隆 准教授

青柳ゼミでは「パーソナルコーチング」をテーマに研究活動を行っています。パーソナルコーチングとは、相手の目標達成に向け、対話によって気づきや学び、自発的な行動を引き出す関わり方です。ゼミでは、パーソナルコーチングが実践できるようになることに加えて、自己理解ワークやペアコーチングによって自己理解が深まることも魅力のひとつです。ゼミに入ってきた段階では将来やりたいことや自身の価値観について明確に説明できない学生も、ゼミナールの活動を通して徐々に自分のことを知り、表現で

きるようになっていきます。また、アウトプットの回数が非常に多いこともゼミの特長です。プレゼンテーション、発表、グループワークなど、自分の考えたことや調べたことを人前で表現するトレーニングを重ねることで、コミュニケーションに自信のなかった学生も次第に上達してきます。スポーツ大会やゼミ合宿、卒業論文発表会など、学年の垣根を超えた交流会を行うことで、より多様な刺激をお互いが受けられるように活動をデザインしている点も、学生にとっての魅力になっているようです。

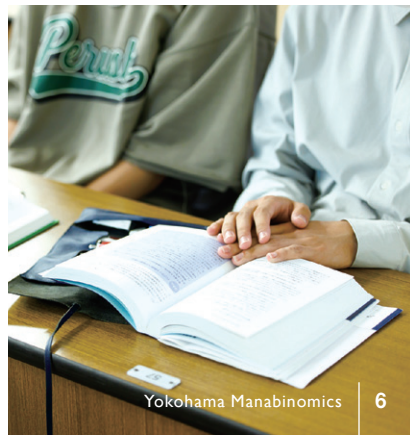


教員
Message

話題の経済ニュースを使って、経済理論を学ぶ

経済記事を読む 担当 島澤 諭 教授

洗練されて抽象化されてはいますが、経済理論は現実の経済やその基となる人間や企業、政府の行動を研究対象にして、様々な経済的課題を解決するための学問です。教室で経済理論を学ぶだけでは、学生たちが現実経済とのつながりを実感することは難しい。そこで、「経済記事を読む」では、その時々ホットな新聞記事やTVニュースを素材として経済学を学びます。現実の経済の動きを示しつつ、その背後にある経済メカニズムを説明することで、経済理論と現実の経済での応用を教えています。「経済記事を読む」の魅力は、経済学を身近に感じながら、経済学と現実経済のバランス感覚を養えることです。



教職課程

教壇に立つ夢を、しっかりサポート

関東学院大学は、中学校や高等学校の教員を目指す皆さんを応援しています。なかでも経済学部は、教職課程において「商業」の教員免許を取得することができる神奈川県内で数少ない大学の1つです。

教職課程の特長

中学校と高等学校の4つの教員免許が取得可能

経済学部では、中学校「社会」、高等学校「地理歴史」「公民」に加え、「商業」の教員免許を同時に取得することができます。この4つを取得できる学部は神奈川県内では2大学のみです。4つの免許を取得すれば教職に就く機会も増えるでしょう。

履修しやすい環境

修得しなければならない教科に関する専門の科目は、経済学部だけでなく、社会学部でも履修することができます。通常は卒業単位として算入されない「教職課程に関する科目」(例:教育原理など)も16単位まで卒業単位として組み入れることができるので、複数の教員免許を効率よく取得することが可能です。

在学生
Voice

羽鳥 竜生さん

自分の恩師が楽しそうに授業をしているのを見て、こんな楽しい仕事はないのではないかなという思いを持ち、自分も目指してみようと教職課程をとっています。経済学部での学びに加えて、教職課程での学びが、自分の大きな成長に結びついていると思います。

課外講座で

簿記の専門知識を修得

経済学部では、「商業」の教員免許取得に必要な簿記に関する専門知識を身に付けられるように、大学での講義だけでなく、外部講師による課外講座を提供しています。

さまざまなサポートを用意

キャリアアドバイザーという教職経験者の教員が教育実習や採用試験のサポートをしたり、DVDを用いた採用試験対策、高大連携などで全学的にも教職課程で学ぶ学生を支えています。また、商業高校を含む高校教員から現場の声を聴く機会や、教員採用に関して各学校のニーズを把握する本学教職支援センターでのマッチングなど、最新の教育情報に触れるさまざまな機会を提供しています。

校訓に基づいた教職課程

関東学院大学の校訓は、「人になれ奉仕せよ」です。昨今、教育実習以前に学校等でボランティアを行なうことにより学校や生徒の現状を知り、教員の仕事について学ぶ機会を得ることが推奨されていますが、

経済学部の強み

教員になるには教える教科の知識や指導法、教育に関わる様々な知識が必要です。それに加えて、経済学部の学生は当然のこととして「経済学」を専門として学びます。教育の本質はいつの時代も変わりませんが、その

本学では学校以外でのボランティアも推奨しています。学校の外での子どもたちの姿を知ることにより学校や生徒の現状を知り、教員の仕事について学ぶ機会を得ることが期待しているからです。

強みを活かして、人々の日常生活、社会の変化、国際情勢に敏感で、学校を外から批判的に見ることができる教員になれるのではないかと期待しています。



教員
Message

様々な文化的背景を持った子どもたちの学校教育

異文化間教育 担当
細谷 早里 教授

「異文化間教育」では、外国につながる子どもたちの現状と課題について学び、多文化化している日本社会の学校教育のあり方を議論し、何をどのように教えていくべきか、多文化共生のための学校づくりとは何か、多文化社会で教員に求められる資質・能力は何か、について考えます。外国につながる子どもたちと彼らと触れあう子どもたちがお互いの良さを最大限に活かせる社会を作るための基盤となる学校のあるべき姿を、教育の平等と公平性を意識する大切さを認識しつつ教職課程の学生たちと共に議論しています。

資格取得

在学中の資格取得を応援、キャリアアップ奨学金を支給

資格取得支援制度

経済学部生の資格取得、公務員や教員等の就職を奨励する制度です。在学中に、語学、簿記、情報処理など、所定の資格を取得した学生、国家公務員、地方公務員、教員など

に就職が内定した学生に対して、「キャリアアップ奨学金」として報奨金を支給します。対象となる資格を複数取得した場合は、それぞれ申請することができます。

2022年度利用者数

◎日商簿記検定2級	1名	◎宅地建物取引士	1名
◎日商簿記検定3級	3名	◎TOEICテスト	2名
◎ITパスポート	1名	◎実用英語技能検定準1級	1名
◎地方公務員	1名	◎3級ファイナンシャル・プランニング技能検定	3名

簿記課外講座

経済学部では、簿記検定試験の受験や教員免許状「商業」の取得を目指す学生に対して、パソコンやスマートフォンを利用したWEB課外講座を開講しています。どの講座も通常受講料金の一部を大学が負担していますので、安価な金額で簿記を学習することができます。資格取得支援制度とあわせて、利用することができます。



在学生
Message

充実した資格取得のサポートが魅力

平賀 愛梨さん

オープンキャンパスで参加した経済学部の体験授業が面白く、先生や学生の方が親身に相談のってくれたことが、関東学院大学の経済学部へ入学した理由です。入学時から税理士資格の取得を目指していて、今年、受験する予定で猛勉強中です。すでに日商簿記2級とFP2級の資格を取得しています。関東学院大学は資格取得をサポートする制度や活動がとても充実しています。その一つに資格取得支援制度があります。これは、合格すると受験料が全額給付される制度です。私もFP検定受験の際に活用して、受験料を給付してもらいました。将来は、資格を活かすことができる金融関係の企業への就職を考えています。

データサイエンス

データサイエンスではデータを整理・分析し、それらの結果をビジネス、行政、医療、教育など、あらゆる分野で活用する能力が求められます。経済学部ではそのために必要な基本スキルを学習することが可能な科目を用意しています。



【全学科目】 KGUデータサイエンス概論/KGUデータサイエンス演習

【専門科目】 経済のための数学入門/基礎マイクロ経済学/基礎マクロ経済学/マイクロ経済学1・2/統計学概論1・2/経済数学1・2/計量経済学1・2/パソコン・データ解析1・2/経済統計学1・2/情報処理概論1・2/時系列解析/教育経済学/都市と公共政策

国際交流助成制度

海外留学や語学研修に挑む学生をサポート、参加者に助成金を支給

国際交流助成制度

留学を通じて国際感覚を養い、自らの視野や可能性を広げ、グローバルな人的ネットワークを形成してほしい—経済学部ではそうした考えのもと、「国際交流助成制度」を設けています。これは海外留学・語学研修に参加した学生を対象に最大20万円の助成金を給付するものです。

経済学部は海外で学びたい学生を、学習面だけでなく経済面からも積極的にバックアップします。



2019年度実績

◎語学派遣留学 オーストラリア 2019年8月～12月	4年生:1名
◎語学派遣留学 アメリカ合衆国 2019年8月～12月	2年生:1名 1年生:1名
◎語学派遣留学 オーストラリア 2019年8月～12月	2年生:1名
◎交換留学 大韓民国 2019年2月～6月	3年生:1名
◎海外ボランティア論 フィリピン 2019年9月	2年生:2名
2020年度 2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績なし	

キャリア支援

自分の将来は、自分でデザインする

就職指導はもちろん、キャリア形成を支援するさまざまなプログラムで学生一人ひとりの進路の支援を行っています。キャリアカウンセラーを中心とした専門スタッフが相談に対応しています。

インターンシップ制度

本格的な就職活動を開始する前に、興味・関心のある企業で一定期間、実践的な就業体験が行えるインターンシップ制度があります。勤労観や社会観を得る機会になります。

キャリア教育

希望する進路の実現に向けて、1年次から総合的なサポートを実施していきます。それぞれの年次に応じたプログラムを受講し、就職活動に備えていきます。

KGU就活NAVI

Web就職支援システム「KGU就活NAVI」は、約15,000件にもおよぶ求人情報の検索から、会社説明会の日程や採用・エントリー情報を得たり、先輩の就職活動体験談を読むことができます。



卒業生
Message



大学で学んだ知識と体験を活かして

株式会社すかいらーくホールディングス 谷 真さん (1977年卒業)
代表取締役会長

たに・まこと：1951年生まれ、富山県富山市出身。小学生の頃から山登りを始め、大学まで続けた。マネジメントの基礎を山小屋で学んだという。1977年関東学院大学経済学部卒業後、「すかいらーく」に入社。「イェスタデイ」事業部副事業部長などをはじめ要職を歴任。2008年、すかいらーく代表取締役社長に就任、顧客志向のレストラン経営に取り組んでいる。

私は子どもの頃から山が好きでした。大学に入ってから、かなりの時間を山小屋でのアルバイトに費やしていました。雪の中から小屋を掘り起こすことから始まり、シーズンともなれば1日に何百人という登山客の世話をする…。飯炊きに明け暮れる日々でしたが、その中で学んだことは、人に喜んでもらうことの喜びや、チームで働くことの楽しさでした。山小屋のやりくりを通して「経営」ということへの関心が高まったのもこの頃です。そもそも、関東学院大学へは建築を学ぶために入学しました。しかし山小屋で芽生えた思いが高じ、結局2年終了時に経済学部へ転部、2年生をやり直すことになりました。そして、これが経営者としての私の原点となったのです。

の持つ大きな可能性について学んだことです。元々、私の中には山小屋で培われた「人に喜んでもらう仕事したい」「人とじかに接する仕事したい」という強い思いがありました。この思いと、ゼミでの学びがフィットし、当時、まさに成長期を迎えようとしていた外食産業「すかいらーく」入社へと突き進んでいくことになるのです。この時の情熱は、経営者となった今でも、私の大きなより所となっています。大学で学ぶことには大きな意味があります。最も大切なことは、実体験と学びが結び付いたときに、問題解決や物事を判断する力、つまり、クリエイティブな考え方が養われる、ということではないでしょうか。海に面し、キラキラと輝くような空気感のある明るいキャンパスと、形式にとらわれず本質を重んずる自由な校風が、きっと後押ししてくれると思います。

学部長
Message



関東学院大学経済学部を目指すみなさんへ

経済学部長 吉田 千鶴 教授

経済学とは、社会経済のメカニズムの究明し、社会なかで起こる問題を発見して、その解決方法を探索していく学問です。現代のグローバル化の進展により、各国の社会経済の成り立ちは複雑化しています。複雑な社会経済の諸課題を分析するには、確固とした視点に立つことが重要です。経済学部では経済理論に立脚した確固とした視点の修得を目指します。経済学部に入學すると、経済学の入門を学ぶとともに、専門的な科目、人文科学や自然科学を含む幅広い教養科目を修めます。1年次から少人数のクラスで、教員と双方向的なやり取りをしながら、専門的な知識を身につけ、主体的に考える力、クラスメートと協同する力、コミュニケーション力を育成していきます。経済学部では、主体的に学び考え行動する学生を涵養するため、アクティブ・ラーニングを実施しています。みなさんが、いろいろな課題にチャレンジされることを期待しています。